

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：北総地域に適するトンネル冬どりコカブの優良品種の選定（第 69 回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕北総地域に適するトンネル冬どりコカブの優良品種は、「新雪」、「CR 雪峰」、「No.5552」である。いずれも葉色が濃く、葉軸もしっかりしており、根部の形状及び揃いが良好で、低温伸長性に優れる。			
キーワード コカブ、トンネル冬どり栽培、品種比較、凍害、品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会、生産振興課	
実施期間	2021年度		

〔目的及び背景〕

千葉県のコカブは、作付面積が全国第1位の904ha（令和元年）で、柏市及び香取郡東庄町を中心に複数の作型を組み合わせて周年栽培されている。トンネル栽培の冬どりコカブは、病害虫の発生が少なく、日照時間にも恵まれ、台風等の気象災害の被害を受けにくいと、安定した収量を確保できることから、主要作型に位置付けられている。産地からは、収量及び品質が良好で、低温伸長性に優れ、凍害に強く、揃いの良い品種が望まれている。そこで、11月播種のトンネル冬どりコカブを対象に、北総地域に適する優良品種を選定する。

なお、本試験は第69回千葉県野菜品種審査会（コカブの部）として実施する。

〔成果内容〕

- 1 第69回千葉県野菜品種審査会（コカブの部）において審査した11品種のうち、入賞したのは、「新雪」（東洋農事（株））、「CR 雪峰」（（株）武蔵野種苗園）、「No.5552」（タキイ種苗（株））の3品種である（表1、写真1、写真2）。
- 2 出芽始期の11月9日に日降水量60mmを超える豪雨があり（図1）、11月15日（同10日）における圃場での出芽率は68～86%（表2）とやや低い状況の中で、入賞品種の出芽率はいずれも79%以上であった。なお、25℃暗黒条件下におけるシャーレ内の5日後の出芽率は、出品されたいずれの品種とも90%以上である（表3）。
- 3 生育期間中の日照時間は平年値以上であったため（図1）、根部の肥大は概ね順調に進み平年並みの2月上旬に収穫できたものの、12月下旬以降の気温は平年値以下で推移したことから全体的に根部の凍害が多く見られた。

4 「新雪」、「CR 雪峰」及び「No. 5552」は、いずれも葉色が濃く、葉軸が強く、根部の形状、つまり及び揃いが良好である。いずれも総収量は 3,800kg/10a 以上で、低温伸長性に優れる（表 4）。

5 「新雪」及び「CR 雪峰」は葉重が重く、根部の凍害発生度が低い。

[留意事項]

入賞品種のうち、令和 4 年 9 月時点で一般販売されている品種は「CR 雪峰」である。

[普及対象地域]

県内のトンネル冬どりコカブ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表 1 第 69 回千葉県野菜品種審査会（コカブの部）の審査結果

順位	出品番号	立毛	収穫物	合計	品種名	出品社名
1	1	51.5	110.8	162.3	新雪	東洋農事（株）
2	5	50.8	109.8	160.6	CR雪峰	（株）武蔵野種苗園
3	11	46.7	112.4	159.1	No. 5552	タキイ種苗（株）

- 注 1) 配点は立毛 60 点、収穫物 140 点の計 200 点である
 2) 栽培場所は畑地利用研究室圃場（腐植質普通黒ボク土）
 3) 令和 3 年 11 月 5 日に播種、令和 4 年 2 月 9 日に収穫し、翌日 2 月 10 日に審査を行った
 4) 栽植様式はトンネル栽培で、ベッド幅 120 cm（条間 13 cm、株間 12 cm）の 8 条播き
 播種後ポリエチレン不織布「ワリフ」をトンネル被覆し、11 月 29 日にワリフに重ねて P0 系フィルム「ベジタロン・アナトン特 3 号（厚さ 0.075mm、開孔率 0.02%）」を被覆した
 施肥量(10a 当たり)は成分量で窒素:14kg、リン酸:17kg、加里:11.2kg
 5) 収穫物審査は試験区画中央の 8 条×6 列の範囲の 24 株を対象とした
 また、それ以外の株は収穫せず、立毛審査の対象とした
 6) 合計点の高い上位 3 品種が入賞品種である
 7) 「新雪」の審査時の品種名は「大島交配 K316」である



写真 1 1 位入賞の「新雪」の立毛及び収穫物



写真2 2位入賞の「CR雪峰」の立毛及び収穫物

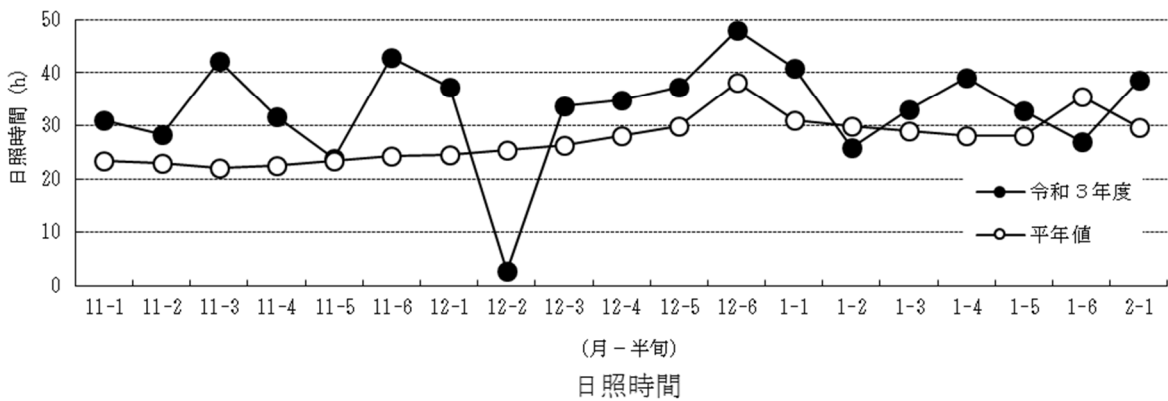
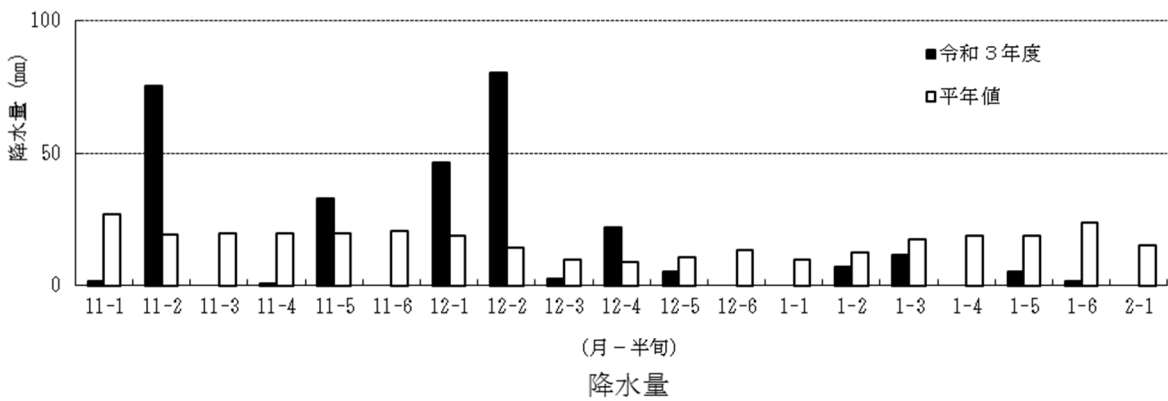
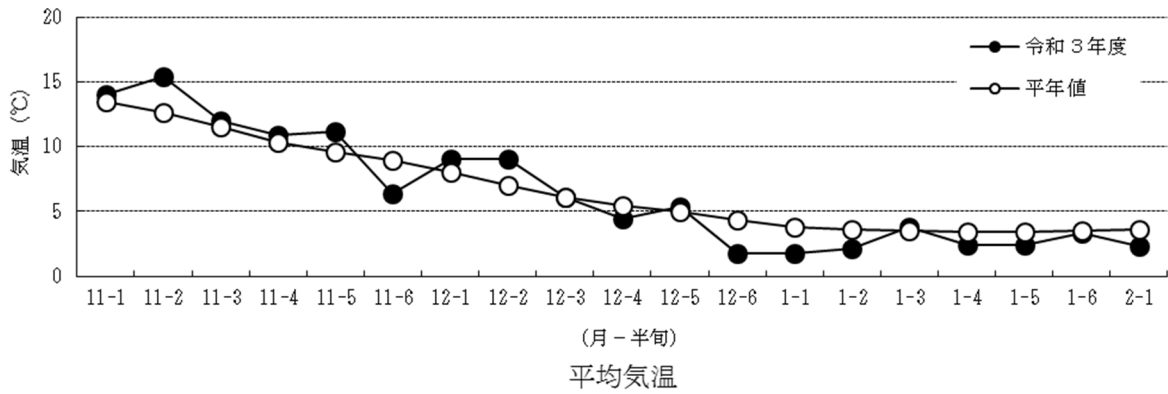


図1 栽培期間中の気象状況（アメダス香取）

出品 番号	品種	出芽率 (%)		
		A区	B区	平均
1	新雪	77	80	79
2		80	81	81
3		78	87	83
4		78	82	80
5	CR雪峰	79	88	84
6		70	66	68
7		72	68	70
8		73	74	74
9		85	82	84
10		73	75	74
11	No. 5552	82	89	86

注) 11月5日播種、11月15日調査
1区696粒(232株×3粒)、2反復調査

出品 番号	品種	発芽率 (%)	
		2日後	5日後
1	新雪	100	100
2		100	100
3		100	100
4		100	100
5	CR雪峰	98	99
6		98	100
7		97	100
8		100	100
9		90	93
10		99	99
11	No. 5552	100	100

注) 25℃暗黒条件下で管理
1区100粒、2反復で調査した平均値

表4 出品品種の地上部・根部の特性、障害発生率及び収量

出品 番号	順位	品種	地上部				根部					総収量 (kg/10a)	可販収量 (kg/10a)	
			葉重 (g/株)	葉色 (SPAD値)	葉軸の 強度	凍害の 発生程度	根重 (g/株)	形状	つまり	揃い	凍害 発生度			凍害発生 株率(%)
1	1	新雪	40	33.1	強	中	84	良	良	良	4.2	4	4,141	3,666
2			37	28.5	やや強	中	93	やや良	良	中	14.6	13	4,326	3,068
3			31	31.9	やや強	中	104	やや良	中	やや良	15.6	23	4,479	3,241
4			31	23.0	やや強	やや小	90	良	良	良	26.0	27	4,028	3,114
5	2	CR雪峰	40	33.7	やや強	やや小	74	良	良	良	8.3	6	3,826	2,853
6			33	35.0	やや弱	やや大	81	やや不良	やや不良	中	19.8	19	3,796	864
7			40	31.1	やや強	やや小	67	不良	やや不良	不良	71.9	63	3,588	930
8			32	29.7	弱	中	85	中	不良	中	29.2	31	3,888	1,417
9			36	27.0	やや強	やや小	74	中	やや良	やや良	30.2	27	3,653	2,195
10			37	31.4	やや強	やや大	68	良	やや良	中	6.3	10	3,508	2,510
11	3	No. 5552	36	32.9	強	中	86	良	良	良	26.0	35	4,072	3,395

- 注1) 調査株は収穫物審査に用いた全株とした
 2) 可販収量は、根物品質に優れた株の合計重量
 3) 茎葉部品質における葉軸の強度は強～弱、凍害の発生程度は小～大の5段階の達観評価
 4) 根物品質における形状、つまり、揃いは良～不良の5段階の達観評価
 5) 根物品質における凍害発生程度は根部を縦に切り割った内部の凍害を0～3の4段階の発生指数で評価し、次式で算出した

$$\text{根部凍害発生程度} = \frac{\sum (\text{発生指数} \times \text{株数})}{(3 \times \text{調査株数})} \times 100$$

 6) 入賞品種以外の品種名は非公表のため記載なし

[発表及び関連文献]

令和4年度試験研究成果発表会(野菜Ⅲ)

[その他]